

不活化ポリオワクチン接種について

昨年のマスコミ報道以降、経口生ポリオワクチンによる副作用(ポリオの発症)を防ぐために、不活化ポリオワクチンの接種を希望される方が増えております。

そのため、大和クリニックでは、不活化ポリオワクチンを輸入し接種することに致しました。

当院では、経口生ポリオワクチンを接種する前、又は既に1回接種した方に行うことをお勧めしています。
接種希望者は大和クリニック 0296-58-7788 まで御連絡下さい。(受付時間 平日 9-17時 土 9-12時)

また、接種が出来るか？また、いつ接種するのが良いか？などについては、医師との相談が必要ですので外来を受診してご相談下さい。

接種開始時期:2011年3月中旬予定

接種費用:5000円/回

持参して頂くもの:母子手帳

ポリオワクチンに関してよくある質問

1. ポリオって何？

- ・いわゆる「小児まひ」というものでポリオウイルスによって起こる感染症です。まひが起こると、主に足の筋力低下や筋肉の萎縮(いしゅく)が後遺症として一生残ります。
- ・現在の日本では流行していません

2. ポリオワクチンについて～経口生ワクチンと不活化ワクチンの二種類があります～

●経口生ワクチン

現在日本で行われている経口生ワクチンは、主にポリオの流行している国・地域で使われる飲むワクチンです。ポリオの流行を抑えるためには非常に有効なワクチンです。

【経口生ワクチンの利点】

- ・定期予防接種のため公費(無料)で接種できる
- ・万が一接種に伴い健康被害が生じた場合、国が認定すれば、予防接種法に基づき、「予防接種健康被害救済制度」により各種補償が受けられる(定期接種年齢の範囲を越える場合は、「独立行政法人医薬品医療機器総合機構法」が適用されます)

【経口生ワクチンの欠点】

- ・非常にまれ(100万回から400万回に1回程度)に、ワクチンを飲んだ人や周りの人がポリオを発症してしまうことがあります
→最近5年間の予防接種後副反応報告の集計によるポリオワクチン接種後の麻痺例は、平成20年度7例(暫定値)、19年度4例、18年度3例、17年度1例、16年度3例、15年度2例となっています
- ・発症してしまったら治療法はありません

●不活化ワクチン

諸外国で行われている不活化ワクチンは主にポリオの流行していない国・地域で使われる注射のワクチンで、ポリオの発症を予防するには効果的なワクチンです。

【不活化ワクチンの利点】

- ・生ワクチンのようなワクチンによるポリオ発症が絶対に起こらない

【不活化ワクチンの欠点】

- ・日本では未承認の薬のため、万が一接種に伴い健康被害が生じた場合、予防接種法に基づく「予防接種健康被害救済制度」による各種補償は受けられない。「独立行政法人医薬品医療機器総合機構法」も適用されない(ワクチン輸入商社による補償制度は整備されています)
- ・注射による複数回の接種が必要

大和クリニック 院長 浜野 淳